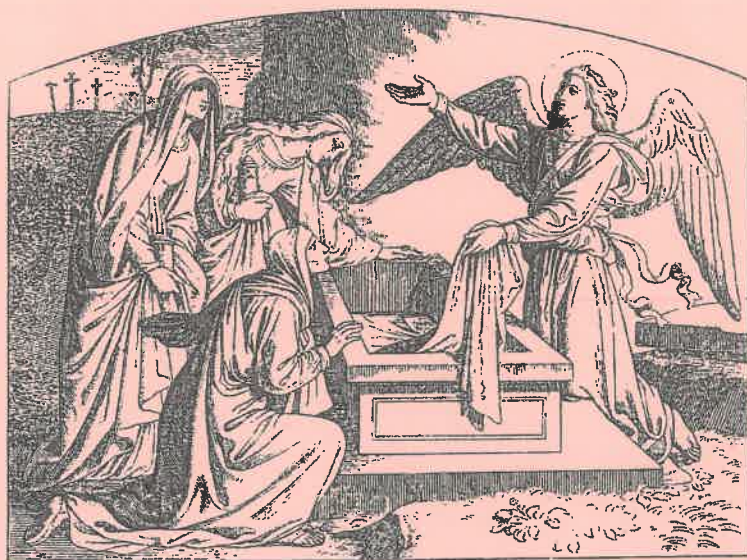


2022. 4. 17

復活日



復活日礼拝

4月17日(日)

司 会	11:00	上野裕介兄
	15:00	最勝寺真美姉
奏 楽	「主はわが罪ゆえ」	J. S. バッハ 町田佐和子姉
招 詞	イザヤ書 53章6節	
讃 美 歌	330	
主の祈り	93 (5A)	
交読詩編	16	
信仰告白	(日本基督教団信仰告白)	
讃 美 歌	28	
祈 禱		
聖 書	ルカによる福音書23章55～24章12節	
讃 美 歌	329	
説 教	「必ず、とされていたのに」	佐藤栄一牧師
祈 禱		
讃 美 歌	290	
洗 礼 式	(67)	
聖 餐 式	(311) 1～3節のみ	
讃 美 歌	333	
献 金		
讃 美 歌	27	
祝 禱		
勤続教師感謝		
報 告		

主しゅの祈いのり

天てんにまします われらの父ちちよ。

ねがわくは 御名みなを あがめさせたまえ。

御国みくにを きたらせたまえ。

御心みこころの 天てんになるごとく、地ちにも なされたまえ。

われらの 日用にちようの 糧かてを きようも 与あたえたまえ。

われらに 罪つみを 犯おかす者ものを、われらが 赦ゆるすごとく、

われらの 罪つみをも 赦ゆるしたまえ。

われらを 試こころみに あわせず、悪あくより 救すくい出したまえ。

国くにと ちからと 榮さかえとは、限かぎりなく 汝なんじのものなればなり。

アーメン

神よ、守ってください

あなたを避けどころとするわたしを。

主に申します。

「あなたはわたしの主。

あなたのほかにわたしの幸いはありません。」

この地の聖なる人々

わたしの愛する尊い人々に申します。

「ほかの神の後を追う者には苦しみが加わる。

わたしは血を注ぐ彼らの祭りを行わず

彼らの神の名を唇に上らせません。」

主はわたしに与えられた分、わたしの杯。

主はわたしの運命を支える方。

測り繩は麗しい地を示し

わたしは輝かしい嗣業を受けました。

わたしは主をたたえます。

主はわたしの思いを励まし

わたしの心を夜ごと論してください。

わたしは絶えず主に相對しています。

主は右にいますし

わたしは揺らぐことはありません。

わたしの心は喜び、魂は躍ります。

からだは安心して憩います。

あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく

あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず

命の道を教えてください。

わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い

右の御手から永遠の喜びをいただきます。

日本基督教団信仰告白

我らは信じかつ告白す。

旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理を示し、教会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖靈によりて、神につき、救いにつきて、全き知識を我らに与うる神の言にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。

主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる唯一の神は、父・子・聖靈なる、三位一体の神にいたしましたもう。御子は我ら罪人の救いのために人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を全き犠牲として神にささげ、我らの贖いとなりたまえり。

神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我らの罪を赦して義としたもう。この変らざる恵みのうちに、聖靈は我らを潔めて義の果を結ばしめ、その御業を成就したもう。

教会は主キリストの体からだにして、恵みにより召されたる者の集たじいなり。教会は公おおやけの礼拝れいはいを守り、福音を正しく宣のべ伝え、バプテスマと主の晩餐ばんさんとの聖礼典を執とり行い、愛のわざに励みつつ、主の再び来たりたもうを待ち望む。

我らはかく信じ、代々よよの聖徒と共に、使徒信条を告白す。

我は天地の造り主み、全能の父なる神を信ず。我はその独ひとり子ご、我らの主、

イエス・キリストを信ず。主は聖靈によりてやどり、処女おとめマリアより生れ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬よみられ、陰府に

くだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天のぼりに昇り、全能の父なる神の右に

坐ましたまえり。かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審さばきたまわん。

我は聖靈を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身からだ体だのよみがえり、

永遠とこしえの生命いのちを信ず。

アーメン。

〔 23 〕

55 イエスと一緒にガリラヤから来た婦人たちは、ヨセフの後について行き、墓と、イエスの遺体が納められている有様とを見届け、

56 家に帰って、香料と香油を準備した。

婦人たちは、安息日には掟に従って休んだ。

〔 24 〕

1 そして、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。

2 見ると、石が墓のわきに転がしてあり、

3 中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。

4 そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに現れた。

5 婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。

「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。

6 あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。またガリラヤにおられたころ、お話しになった

ことを思い出さない。

7 人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」

8 そこで、婦人たちはイエスの言葉を思い出した。

9 そして、墓から帰って、十一人とほかの人皆に一部始終を知らせた。

10 それは、マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいた他の婦人たちであった。

婦人たちはこれらのことを使徒たちに話したが、

11 使徒たちは、この話がたわ言のように思われたので、婦人たちを信じなかった。

12 しかし、ペトロは立ち上がって墓へ走り、身をかがめて中をのぞくと、亜麻布しかなかったので、この出来事に驚きながら家に帰った。

1 目覚めよ、歌えよ、声をあげよ。

主は復活された、喜び祝え。

2 驚きいぶかる弟子を前に

「触れてみなさい」とみ傷示す主。

3 手足の傷こそ愛のしるし、

流れる血しおは救いのしるし。

4 重い墓石も死も孤独も

よみがえりの主をおさえこめない。

5 友なく捨てられ死なれた主は

いま復活されて世を支配する。



日本基督教団 六角橋教会

牧師 加山 真路

牧師 佐藤 栄一

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋1-26-8

電話 045(432)0694

FAX 045(432)0194

郵便振替口座 00250-2-979

(ホムペーシ)

www.rokkakubashi.org

